

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
理科	科学と人間生活	選択必修	なし	2単位	① 2 ③
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
日曜	10時間	8時間	5時間	2回	6枚

### 科目紹介と履修上のアドバイス

「科学と人間生活」は、科学と日常生活とのつながりについて学ぶ科目です。物理・化学・生物・地学の4分野の基礎的知識を学びながら、科学技術がどのように私たちの生活に影響を与えているか、また社会や環境にどのように貢献しているかを学びます。多くの観察・実験を通して科学の知識を増やすとともに、科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高めることを目標とした科目です。日常生活で起こるさまざまな現象や問題、または地球規模で起きている環境問題やエネルギー問題、SDGs等に興味・関心を持っている生徒はぜひ科学と人間生活を受講してください。

卒業するためには、地学基礎、化学基礎、生物基礎の3科目を履修する、もしくは、〇〇基礎1つと科学と人間生活を履修する必要があります。

教科書	科学と人間生活(東京書籍)	学習書	科学と人間生活(NHK 出版)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### 面接指導計画

回	学習内容	教科書	レポート	回	学習内容	教科書	レポート
第1回	微生物とその利用	6~37	1				
第2回	ヒトの生命現象①	38~51	1				
第3回	ヒトの生命現象②	52~65	2				
第4回	材料とその再利用	66~93	2, 3				
第5回	衣料と食品	94~115	3				
テスト	レポートNo.1~No.3						
第6回	光の性質とその利用①	116~137	4				
第7回	光の性質とその利用②	116~137	4				
第8回	熱の性質とその利用	138~157	4, 5				
第9回	太陽と地球	158~179	5				
第10回	自然景観と自然災害	180~207	6				
テスト	レポートNo.4~No.6						